Japan Offical Fishng Instructer Osaka

じょふぃおおさか

JOFIOSAKA Vol.20

2007年（平成19年）9月10日発行　発行者：大阪府釣りインストラクター連絡機構
本　部：大阪府東大阪市中小阪1-5-20（來田仁成方）tel06-6729-9485 fax06-6729-9457
広報部：大阪市北区天神橋3-8-15（フィッシュマン方）tel06-6358-4414 fax06-6358-4445

挨拶 JOFI大阪のみなさんにご報告

來田仁成（JOFI大阪代表）

大阪市で“釣り人が参画する釣り公園づくり”が進もうとしています

3年越しに取り組んできた大阪北港の舞洲遊歩道が「釣り解禁」へと一歩踏み出しました。今年はまず別記のように9月23日と10月14日の二日間だけ「社会実験」として開放されます。「社会実験」とは、ここを釣り場として開放してよいかどうかというテストケースです。実験の結果として問われるのは釣り人のマナー、つまりゴミを残すかどうかということと、安全に関する問題です。こうしたテストの段階をクリアして、はじめて釣り禁止解除という方向への「お願い」が動きはじめるわけです。

言い分はたくさんあります。大阪市でいま公然と釣りができる場所はご承知の大阪南港魚つり園のわずか全長700mです。そして、そこも数々の埋立地造成で、もはや潮の動きが悪くなり、釣り場としての魅力は大幅に減少しています。大阪市民が、公有水面で、無主物と定められている海の魚を採捕する自由は無視され、むしろ「港湾の管理のもとで釣らせてもらう」しかない状態です。

この国では、自由も、自然環境も、いったん奪われ、破壊されてからようやく少しずつ与えられるのが慣例なのかもしれません。

だが、釣り人が自由を求める魂を亡くしてしまえば、そこで釣りは滅びます。なんとかわずかずつでもよい、守り残したいと思っています。そんなわけで、9月23日と10月14日の二日間だけは、晴れて北港で竿を出せる日です。ぜひ集まって下さい。

私たちの“大阪湾水質モニタリング調査”が市民の関心を集めています

ことしは大阪湾にまだ青潮が発生していません。台風が、北風を呼び込まないコースをとったことから生じたラッキーな結果ですが、そのせいで武庫川、淀川、大和川などの河口ではハゼが空前の盛況です。イワシ、アジ、タチウオなども好成績です。

そうした海の状態を科学的にデータとして把握して、昨年のように青潮の海を防ぐための対策を関係機関に進めてもらわなくてはなりません。そのための、捨石に近いような、みなさんの地道な努力の積み重ねが、国やマスコミから高い評価を受けています。瀕死の大阪湾を救うため、これからも続けていきたいと考えています。

釣り人が「自分だけ釣れればいい、とにかく魚を釣りたい」という自我の世界から一歩踏み出して、次の世代へも釣りを伝え残す義務があると考え行動を開始した試みの一つとしての評価も高くなっています。釣りインストラクターの精神世界のありかたを、もっと広げていきたいものです。

新しい時代の漁場管理の方向性について

わたしたち釣りインストラクターの資格発行団体である（社）全日本釣り団体協議会は、水産資源の持続的活用に向けて漁業と遊漁のありかたと話し合いの機会作りへと少しずつ前進しようとしています。

海面利用協議会にかわって地域の特性を十分に生かし、相互理解のもとに資源や環境保持のための具体的な方策を話し合う機会をなんとか制度に乗せていきたいと願っています。そのためにはまず自然環境に対するつつましやかなこころが必要です。より大きな魚を、より多く釣るという「自我の釣り礼賛」の時代は明確に終わっています。

「どうすれば、みんながより楽しく釣りが続けられるのか」みなさんもそのことを模索しているはずです。

それには、海面、内水面ともに漁業者との話し合いや、釣り人として意見をのべ、川や海の運営に参画していく必要があります。水産庁はそうした機会つくりに積極的に動き出そうとしており、ここ数年が山場になりそうです。

全釣り協はこうしたわが国全体の釣り人の地位と魚の棲める環境維持のために存在しています。一般の釣りクラブや連合体組織との根本的な違いはそこにあるはずです。国から助成金を受けてそれを全国にまくばって釣りを盛んにする組織ではなく、釣り人の地位を確保し、ともすれば管理者側の都合で追い出されそうになりがちな釣り場を確保し、日を追うごとに、あるいは社会が「発展?」することによって滅ぼされそうになっている沿岸の魚の立場を代弁するのが仕事のはずです。

そして、釣りインストラクターのみなさんは、その最前線に立つ戦士なのです。

文部科学省と連携して釣りインストラクター集中講習会を実施しました

釣りインストラクターのみなさんにとってうれしい話があります。この8月6日から9日まで東京海洋大学で全国の水産高校の先生たちに、釣りインストラクター資格を持ってもらうための集中講習会が開かれました。文部科学省からの予算で開かれたこの講習会は、みなさんの釣りインストラクター活動が、どんどん認められ、高い評価を得ている証でしょう。

それぞれの地元に散らばった先生方が、わたしたちの釣りへの思いを、数多くの生徒たちに伝えてくれる。そうした輪のひろがりを願って、これから毎年この講習会が続いて開かれることを期待したいと思います。

釣りインストラクターのみなさんの一層の活躍をお願いします。

（社団法人全日本釣り団体協議会専務理事／NPO法人釣り文化協会理事長）

大会案内①

舞洲シーサイドプロムナードが1日解放されます！

大阪市では、舞洲のシーサイドプロムナードを含む地域を、環境学習を考慮した魚釣り公園として解放できるかどうかを調査するために、関係の釣り団体（財団法人日本釣振興会・社団法人全日本釣り団体協議会・NPO法人釣り文化協会）と協定書を交わし、9/23、10/14 の両日に社会実験を行なうことを決めました。社会実験の目的は、①舞洲への集客および水辺空間の利用促進を図る ②舞洲が環境の洲であるとのPR ③魚釣り場所の確保に向けた検討 ④魚釣り禁止場所での魚釣り禁止の啓発などマナーの向上を図る となっています。

私たち釣り団体としましては、釣り場環境として適しているかどうかを調査で明らかにするとともに、老若男女が楽しめ、生物への愛情を忘れない釣りという豊かな趣味を持つ市民が数多くいることを2日間の社会実験でお伝えしたいと思います。

舞洲における環境学習と魚釣りの社会実験

第 1 回 9/23『水質調査と釣獲調査大会』
（釣り文化協会＝JOFI大阪が担当します。）

第 2 回 10/14『ファミリー海釣り大会』
（日釣振大阪府支部が担当します。）

主　催 NPO法人 釣り文化協会
財団法人 日本釣振興会 大阪府支部
社団法人 全日本釣り団体協議会

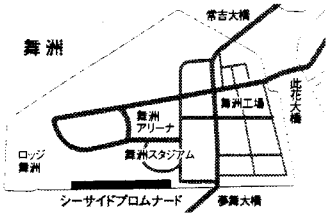
共　催 大阪市港湾局

日　時 9月23日（日）／10月14日（日） 6時～14時

開催場所 大阪市此花区北港緑地2丁目
（舞洲緑地シーサイドプロムナード）

参 加 費 無料

定　員 各日とも100人（事前受付）。
中学生以下の参加者は保護者同伴下さい。



天候等：両日とも雨天決行いたします。ただし、大雨・暴風・波浪等の注意報及び警報が出たときは中止。
釣り方：両日とも釣り方は自由。ただし前方が航路となっているため、投げる場合は護岸から10m程度としてください。
清掃活動：大会の終了時にゴミ袋を配布し、釣り場辺のゴミ掃除を行います。
その他：今回は釣り場として好適であるかどうかを調べる社会実験のため、アンケートを実施します。ご協力下さい。
最寄駐車場：舞洲緑地東駐車場（30分間無料、6時間以上1000円）

申 込 先 参加申込書をFaxにてご送付下さい。
（両日とも申込み締切りは前日までとしますが、定員になり次第締め切ります）

大会内容

第1回 9月23日『水質調査と釣獲調査大会』

受付：6時～ 検量：11時まで随時 表彰式と清掃活動：11時半～
水質検査講習会：12時半～13時半 終了：14時
調査部門：①チヌの部 ②スズキの部 ③アジ・イワシ・サヨリの部
④ガシラ・メバルの部 ⑤タコの部 ⑥他魚の部

※各部門1位に賞を進呈します。※すべての部門に重複してエントリーしていただけます。※環境調査のため釣獲した魚をすべて記録しますので、大物を釣った場合はすぐに検量に提出下さい。小物類は10時以降に検量します。※釣った魚をリリースする際は生かして検量をしてください。
水質調査：12時半より水質調査の講習会を実施します。参加者に「水質目視調査キット」を差し上げます。

第2回 10月14日『ファミリー海釣り大会』

受付：6時～8時 検量：11時半～12時半
表彰式と清掃活動：13時～ 終了：14時
対象魚：アジ・イワシ・サヨリ・チヌ・スズキ・ガシラ・メバルなど全魚種（タチウオ・ハモなどの長モノを除く）

※環境調査のため釣獲した魚をすべて記録しますので、大物を釣った場合はすぐに検量に提出下さい。※釣った魚をリリースする際は生かして検量をしてください。
賞：各部門上位に賞品。豪華賞品多数。
水質調査：12時より水質調査の講習会を実施します。参加者に「水質目視調査キット」を差し上げます。

JOFIの皆様はぜひ9/23に弁当を持ってお集り下さい。
たまにはJOFI内の釣り大会を開催したいと思います。

舞洲シーサイドプロムナード釣り大会申し込み書

9月23日『水質調査と釣獲調査大会』	10月14日『ファミリー海釣り大会』
＜申込者＞	＜申込者＞
氏名 （年齢 ）	氏名 （年齢 ）
住所	住所
連絡先電話番号	連絡先電話番号

Fax 06-6358-4445
NPO法人釣り文化協会事務局まで

Fax 06-6531-0988
日本釣振興会大阪府支部まで

JOFIOSAKA

大会案内②

9/30 今年もやるで〜! 大阪湾53PickUp!

昨年からNPO水辺基盤協会・NPO釣り文化協会が合同で主催しています「大阪湾のクリーンナップ活動」ですが、今年JOFI大阪の担当は「大阪南港周辺」としました。特に、ふだんお世話になっている南港魚つり園周辺のゴミが目立つことから、まずは自分たちの足元の掃除を行ないたいと思います。南港魚つり園に来られている方にも呼びかけて、釣り場美化の習慣がひろがるように、ミニ釣り大会も同時開催し、楽しいイベントにしたいと考えています。

この日は、泉州の貝塚人工島、兵庫県の南芦屋浜でも同じ釣り人仲間で実施しますので、JOFI会員の皆様は、担当会場にこだわることなく、お近くの会場に足を運んでいただければ幸いです。

なお、この活動は参加日のカンパによって成り立っていますので、そのことも合わせてご協力いただきたくお願い申し上げます。

萱間修(JOFI大阪広報部、釣り文化協会事務局長)

きれいな大阪湾で釣りが楽しめる日をめざして!!

平成19年・大阪湾53PickUp!

(釣人によるクリーンナップ活動)

主　催　NPO法人釣り文化協会
NPO法人水辺基盤協会

開催日　9月30日(日)

場　所　①南芦屋浜・海浜ベランダ周辺
②大阪南港・魚つり園周辺
③貝塚人工島・防波堤周辺

参加費　1000円程度のカンパをお願いします
(ゴミ処理費用・保険料等に充当します)

用意するもの　清掃用具は一応主催者で用意していますが、マイ軍手・ほうき・ちりとりなど、ご自分のものがあればご持参下さい。ビニール袋は支給します。

処理について　ゴミの処理は、燃えるゴミ、缶などの燃えないゴミ、資源ゴミなどに分けて、各々の自治体に翌日に収集していただくようにお願いしています。ただ、自転車やタイヤ等、責任者が見つからないゴミが行政の隙間で放置されている現状がありますので、もしそれがあれば集めてください。この日1箇所に集積し、後日自費で処理を行なう予定です。

集合場所・開催時間・ミニ大会等

53PickUp!会場		①南芦屋浜	②大阪南港	③貝塚人工島
集合場所		潮芦屋公園駐車場	南港魚つり園前	南西カド
集合時間		8時	9時	8時
クリーンアップ活動		8〜9時	9〜10時	8〜9時
ゴミ分別・抽選会等		9時〜	10時〜	9時〜
終了予定		9時半頃	10時半頃	9時半頃
ミニ大会	開催時間	5時半〜7時半	8時〜9時	5時半〜7時半
	対象魚	スズキ・青物	アジ・イワシ類	タコ・イカ
	審査方法	1匹長寸	1匹長寸	1匹重量
担当クラブ(実行責任者)		湾岸シーバスソサエティー(宮川　靖)	JOFI大阪(萱間　修)	トップウォーターチーム(山科和史)

参加賞　10日前までに参加申し込みいただいた方には、ゴミ処理費他寄付のお礼として"53キャップ"をご用意します。当日参加の方は別の参加賞となります。

参加申込先・問合せ
「大阪湾53PickUp!実行委員会」
大阪市北区天神橋3-8-15釣り文化協会事務局内
申込先=Fax06-6358-4445　問合せ=Tel06-6358-4414

大阪湾53PickUp!参加申込書

会場名　①南芦屋浜　②大阪南港　③貝塚人工島　(○で囲む)

＜参加者1＞	＜参加者2＞	＜参加者3＞
氏名　(年齢　)	氏名　(年齢　)	氏名　(年齢　)
住所	住所	住所
連絡先電話番号	連絡先電話番号	連絡先電話番号

Fax 06-6358-4445
NPO法人釣り文化協会事務局まで

JOFIOSAKA

報告1「平成19年度JOFI大阪定期総会」

平成19年5月20日(日)に大阪市西区の「ダイワロイネットホテル四ツ橋」ルビーの間で出席者37名と委任状提出者62名を合わせ99名(全会員数167名・総会成立規約承認過半数84名・平成19年5月19日現在)により平成19年度の総会は成立。開会の言葉から始まり、議長に副代表である山崎勝彦氏を選出し議事へと進行しました。

会員の了承を求める事項である「第一号議案平成18年度事業報告」が高木博文事業部長から、本部協力事業223名・支部個別事業78名・南港釣り園協力事業252名で、事業協力者は年間延べ553名の多数にものぼりました。各事業への協力者に有難う御座いました」との報告がありました。

「第二号議案広報誌発行報告」を清水修広報部次長から、広報誌の9月発行No18号を500部製作、主な記事は「釣り人による大阪湾水質モニタリングの意味」「淀川わんどクリーン作戦」等13項目で、平成19年1月発行No19号は「07フィッシングショーおおさか」もあり700部製作し、同会場へ来られた一般の人たちにも配布しました。主な記事は「大阪市民釣り大会」「三方五湖での在来魚保全釣り大会の案内」等9項目との報告がなされました。

「第三号議案収支決算報告」は財務部三木健司部長から、収入の部では会費収入は計画より少なくなりましたが、南港釣り園協力事業の収入が多くなりました。また、支出の部では役員会出席のための交通費が増額となりましたとの報告がされました。「第四号議案収支決算監査報告」は、監事である川村孝二氏から、帳簿・現金・預金通帳・領収書等を精査し、適正に処理されている旨の監査報告がありました。

第一号議案から第四号議案まで満場一致の拍手をもって了承されました。決議を求める事項の議事「第一号議案規約改定〔案〕」役員の任期改定、および会計年度時期の変更を、事務局物部胤三局長から提案審議され決議されました。

第12条の役員任期改定では、役員の任期は2年となっていたが役員会から総会で報告し承認されることにより、1年とすることができるようになりました。

また、第15条の会計年度時期変更は、会計年度を毎年1月1日から12月31日とし、総会開催日も併せて変更することになりました。

「第二号議案平成19年度事業計画〔案〕」が高木博文事業部長・「第三号議案平成19年度広報誌発行計画〔案〕」を清水修広報部次長・「第四号議案平成19年度収支予算計画〔案〕」を財務部三木健司部長・最後の事項「第五号議案平成19年度役員変更の承認〔案〕」を、事務局長から提案し審議され決議しました。

また、出席者から寄付を特別会計として管理するよう提案があり、役員会で実施する方向で検討することとした。

懇親会では、來田仁成代表の挨拶からはじまり、各支部長から新会員の紹介と新年度への抱負を表明するとともに会員相互の親睦を深めました。

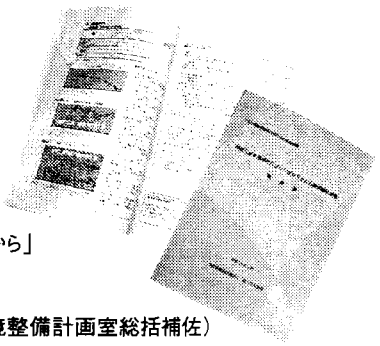
1年後の平成20年度総会での再会を約して、新会員で一番若い西裕生氏の今後の抱負の後、大阪東部近藤幹雄支部長の挨拶で閉会となりました。

報告　物部胤三(JOFI大阪事務局)

JOFI大阪平成19年度総会式次第の一部変更がありますので掲載します。
第五号議案「平成19年度執行役員(案)」
支部役員　泉州支部

変更前	支部長	安達昭二	変更後	支部長	房野功治
	副支部長	大浦方至		副支部長	大浦方至
					安達昭二

報告2 3/17「釣り人が見た!大阪湾の健康診断」水質検査シンポジウム



3月17日(土)13時から大阪市中央区のマイドーム大阪8階第1第2研修室で、約80人が参加して開かれました。テーマは「釣り人(市民)によるモニタリング文化の構築に向けての検討」のほか「釣り人が実施した大阪湾水質調査報告」が行われました。プログラムは次のとおり(敬称略)

第1部　基調講演

「市民による環境モニタリング文化のこれから」鷲尾圭司(京都精華大学教授)

第2部　市民による環境モニタリングに関する報告

報告1「釣り人による大阪湾水質調査の結果」來田仁成(NPO法人釣り文化協会代表)

報告2「大阪湾の現状と水質調査結果の関係」鍋島靖信(大阪府水産試験場主任研究員)

報告3「わたしたちの目に映った大阪湾」

第3部　パネルディスカッション

「環境モニタリングシステムのこれから」

鍋島靖信(前掲)

田中知足(国土交通省港湾局環境整備計画室総括補佐)

城崎和義(水産庁資源管理部沿岸沖合課釣人専門官)

関藤博史(NPO法人環境教育技術振興会理事長)

來田仁成(前掲)

コーディネイター　鷲尾圭司(前掲)

詳しくは、釣り文化協会が製作した「市民による環境モニタリングシステムの構築検討調査　報告書」をご覧下さい(釣り文化協会にて貸し出し)。または釣り文化協会ホームページhttp://www.turibunka.or.jp/にてPDFファイルから読んでいただくことができます。

報告3 3/4「第24回石川大清掃」に参加して

今年の“大和川・石川クリーンキャンペーン”は、3月4日（日）に開催されました。この活動は、昭和59年に富田林市から始まり河内長野市や羽曳野市でも同時に実施されるようになり、今では大和川流域も含め“大和川・石川クリーンキャンペーン”として取り組まれるようになりました。現在は、すっかり富田林市の風物詩となっております。

今年もJOFI大阪として10名が参加協力し、富田林市の石川グラウンド会場にて地域の方々と共に早朝から清掃活動を行ないました。この日は、約7000人を超える人々が参加し、約160トン（2トン車79台分）のゴミが集まりました。みんなの手できれいにした川を、いつまでもゴミのない美しい川にしたいものです。来年もJOFI大阪として参加したいと思いますので、一人でも多くのメンバーが参加されることを期待しております。

報告：清水保雄（堺・南河内支部）

なお、3月4日は午後から岸和田市公民館にて、大阪湾見守りネットによる「大阪湾フォーラム」が開催されましたので、JOFIからは石川から続きで有志が参加しました。NPO釣り文化協会の萱間事務局長がパネリストとして参加しました。

報告4 5/27「水質調査員研修会・塩分濃度計の製作会」

5月27日、午後1時から大阪南港魚つり園NPO控室にて、平成19年度水質調査員第一回研修会を開催。今年度の水質調査のポイントと課題を調査員の皆さんと話し合いました。また、水質調査3年目の今年は、調査員全員がその場で塩分濃度が分かるように、「塩分濃度計」の製作を行なうことを決め、この日、100個の製作材料を持ち込み、約60個の半完成品を作ることができました。オモリの微妙な調整と目盛り書きの仕事を残して夕方いっぱいまでかかって終了。後日安達昭二さんらが完成品に仕上げてくれて、今年度の調査員全員に配布することができました。なお、今年度の水質調査としてのスタートは7月中旬からになりますが、8月初旬に昨年を上回る93名の参加がありましたので合わせて報告しておきます。

報告5 6/3「加賀屋中学校釣り大会」

参加者は大阪市住之江区加賀屋中学校の生徒さんで、第15回を迎えるそうです。6月3日、空は曇天で薄暗い。雨が心配な天気でした。大会は午前8時スタートですが、私が南港つり園に到着したのが30分前。私と同じくお手伝いをするインストラクターの方々も到着されています。挨拶もそこそこに準備のため釣り場に向いました。海上は比較的穏やかです。つり園の中央周辺は、どうやら数人が入れるスペースしか空いていません。南側の4番波止あたりにちょうどいい場所が見えたのでそちらへ向かいました。先生、青少年指導員、関係者の方々が大会準備に掛かられていました。我々もテント張りや釣り場所の準備を手伝います。

参加者の生徒達も集まり始め、スタートの時間も迫ってきました。暫くして集合の声が掛かりました。まず、先生から今回お手伝いいただく関係者の紹介と大会ルールや注意事項の説明が一通りありました。次に今回使うサビキ釣り仕掛けの道具が生徒20名全員に渡され、皆で竿に仕掛けをセットします。上手くできない生徒には指導員や我々インストラクターがアドバイスしながらセットが完了。そして、それぞれが事前に決められた釣り場で大会がスタート。私の胸もわくわくしてきました。

スタートして暫くは、餌は何処に？　仕掛けが絡んだ、針が指に服に刺さった、糸が出ない、などとワー、キャー、ワイワイ、ガヤガヤにぎやか。次に、サビキ籠に餌がうまく入れられない、何をどうすればいいのか分からない、竿やリールの操作ができないなど、困っている生徒が出てきます。インストラクターの出番です。それを素早く見つけアドバイスをします。中にはベテラン顔負けの竿サバキを見せている生徒もいます。きっと日頃から釣りをしているのでしょう。

スタートして30分。賑わいも沈静化し始めた頃、自分の釣り場を離れる生徒も出てきました。私は一人右端で海とは逆向きに何もしないで座っている生徒を見つけ、声をかけにいきました。「どないしたん、気分でも悪いのんか」「んー、なにも釣れへんから退屈やねん」「まだ始まったばっかりや、もうちょっとがんばりや」「うん」興味が続かないのです。他のインストラクターの方の情報も今一つよくありません。釣況を確かめるために左端から見て回ることにしました。

一番左端の生徒の隣で、一般釣り客の方がちょうどサビキでイワシを釣り上げたところに巡り合わせました。それを良い事に私は、「皆さん、イワシが釣れ出しましたよ」と次から次へと連呼してまいりました。先ほどの退屈していた生徒のところまで戻ったら、彼も熱心に釣りに専念していました。　10cm前後のイワシがぽつぽつ釣れ出し、再び大会も賑わいを取り戻しました。

釣れた魚の検寸や写真撮影に追われる関係者は大忙しです。嬉しいてんやわんや。11時30分、3時間半のわいわい楽しい釣りが終了。釣果は一人平均イワシが5匹程度とよくありませんでしたが、釣れた人も、釣れなかった人も思い出は作れました。校長先生も参加して表彰式。全員で記念写真を撮りました。後日、加賀屋校下青少年指導員会の坂本敏文氏よりメールを戴きました。＜昨日は、ご指導等いろいろお世話になりました。子どもたちも、めちゃくちゃ楽しかったとのことです。本当にありがとうございます。＞

報告：山下隆一（南西支部）

報告6 7/16「体験型教室のつくり方講座」

7月16日、大阪南港魚つり園にて、大阪府水産課主催「魚庭（なにわ）の海」府民講座の第1回講義「初めての釣りに挑戦」を開催。講師はJOFI大阪代表來田と、釣りインストラクター11人があたりました。この講座は大阪府の水辺を楽しむためのヒントを、子ども活動のリーダーの方々に知ってもらうために企画したもので、10月までに5回の講座が開かれます。ふだんは中学や高校の先生方、地域のリーダーの方など、教育の現場でたたき上げている方が参加されており、私たちも釣りを教えながらも、逆に教え方、学び方の姿勢を勉強させていただきました。

講義では、釣りという遊びが、他の勉強とは違っていくつもの正解があり、それを個人の判断力で取捨選択することが求められるという釣りの概略と、もうひとつ、釣りを科学することの楽しさを、私たちがやっている「水質調査」の話を通じて説明しました。実釣ではサビキでアジがよく釣れたので、楽しい体験をしていただけたと思います。

このときの参加者の中から今年度の「水質調査員」が何人か手を上げてくださいました。さすが、先生方は興味の持ち方が違うなと思いました。受講者は21人、大阪府水産課の担当の方が、残って午後に釣りを楽しんでおられたのが思い出されます。

お礼状をいただきました。

釣りインストラクターの皆様

暑い日が続きますが、ご一同様お元気でご活躍のことと存じます。先日は魚つり講座で、大変お世話になりました。釣りとは全く無縁で、当初大丈夫かと、とても不安でしたが、來田様の楽しいお話に始まり、後半のサビキ釣り実践まで、気付けば時間をすっかり忘れるくらいハマっておりました。

子供は小2と幼稚園年長ですので、教えていただいた事を、まずは子供と共に泉佐野港辺りでやってみようかと思っております。住まいが難取町と泉佐野市境にありますので、岡田浦の辺りもいいかも知れません。道具もないのですが、夫が以前釣りにハマって（これはやはりハマりやすいものなのでしょうか!?）タチウオ釣りやらにまで手を出していたこともあり、あらためて道具選びからうとウキウキしてくれておりますので好都合（笑）。

初めての釣りでボラを釣らせていただき、写真も撮っていただき、新瀬さん経由で頂戴いたしました。お礼がすっかり遅れましたことお許し下さい。栗林様にはくれぐれもよろしくお伝え下さい。家族にも喜ばれました。記念！です。来年度には子供会の役員になることもあり、釣りを活動の中に取り入れていこうと検討中です。

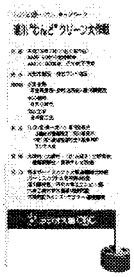
皆様がおっしゃった通り、釣りから学ぶことは数多くあります。命の大切さ、自然をいつくしむ心、私達親が伝えていかねばならないことは山積。ここで学ばせていただいた機会を無駄にしないよう心がけてまいりたいと思っております。本当にありがとうございました。暑さの折、皆様ご自愛下さいね。

八月一日　K・K

（河野様より頂戴しましたお礼状です。わずかな時間でもこのようなふれあいができたことはうれしいですね。）

報告7 7/16「淀川わんどクリーン大作戦」

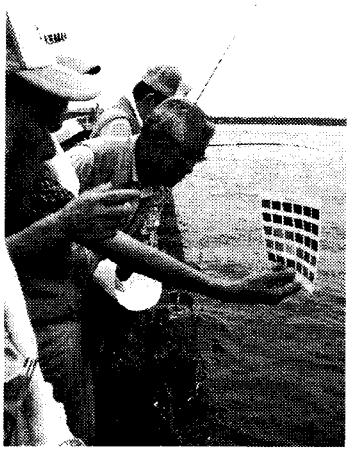
7月16日、大阪市旭区淀川河川敷城北ワンドにて、今年で21回目を迎えるクリーンアップキャンペーンが開催。午前9時30分から受付をし、10時より清掃とゴミ集めを開始しました。今年は台風明けの開催となり、淀川の増水があり、かなりのゴミが漂流していました。特にペットボトル、大小プラスチック製品などが目立ち、大型ゴミでは壊れたテレビ、ポリタンク、単車の一部、プランターなどがありました。参加者全員、両手がゴミ袋でふさがりました。

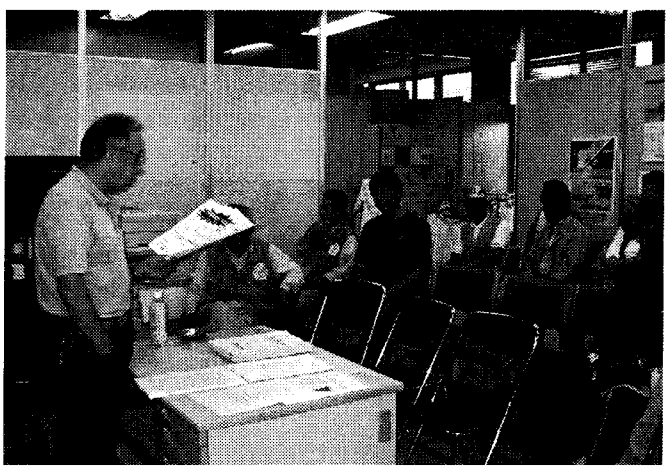


JOFIからの参加者は8人。主催は「LOVE遊―淀川」実行委員会、近畿地方整備局淀川河川事務所、財団法人河川環境管理財団、ラジオ大阪。

報告：奥野昌夫（北河内支部長）

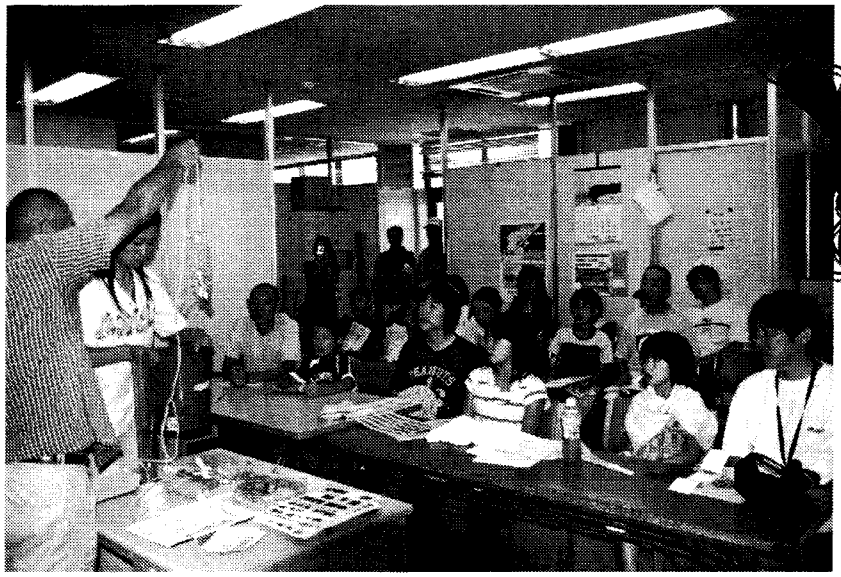
報告8 7/22「第2回水質調査員研修会・NPO総会」





7月22日は、JOFIメンバーで今年度から水質調査員として登録されたメンバーに対して水質調査の講習会を行ないました。先生は川村孝二さん。川村さんの実技はとても手際よく、楽しみながらされているということで、後輩の手本になっています。またこの日はJOFI役員会の後で、NPO釣り文化協会の定例総会も開催され、一般のNPO会員の方との交流もできました。

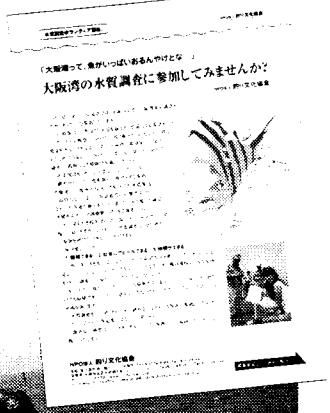
報告9 8/5「夏休みジュニア水質調査の日」

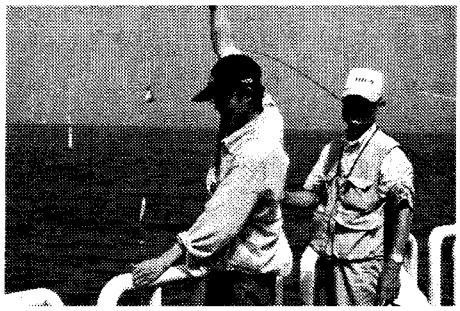


水質調査の器具の説明を受けます。

全員で記念撮影です。

8月5日、南港魚つり園にて、小学生の親子が釣りインストラクターの指導のもと、魚釣りを楽しんだ後、水質調査を行ないました。参加した家族は8組、16人。夏休みの子ども参加型イベントとして、非常によい内容であると思っていましたが、難しいのは告知方法でした。教育の現場からの協力がなかなか得られず、新聞と現場でのお誘いで集まって下さいました。しかし、そういう方々が水質検査にとても興味を持っていただき、実際にやってみてよかったと感じました。子どもの頃から大阪湾の水質について興味をもつことが将来的に海を守る人を作ることにつながると思います。今年は台風などの影響もあり、3日開催の予定が1日だけになりましたが、来年もジュニアの水質調査はぜひ続けたいと思います。私たちの目線で行なう水質調査の輪が広がってきているように思います。





台風のあと、よい潮が入ってアジやイワシが釣れました。

岩下さんファミリーと指導員。

自分で記録して夏休みの自由研究のテーマにします。

報告10 平成18年 9/16「やわたフィッシングスクール」 主催　八幡市教育委員会

9月16日(土)9時～16時　於　第三小学校　志水池

講義　釣りを楽しもう、その一(吉川)　釣りを楽しもう、その二(繞木)、釣りのマナー、ルール(太良木)　釣り場での注意事項(山中、中田)、淀川水系の魚たちと近在の釣り場(中出、渡邊、藤井)、鯉釣り池の仕掛けと釣り餌作り(中田、山中、渡邊、藤井、小河)

釣り実技　志水池に移動　参加者42名、主催者5名、講師9名と大勢懇切な指導のもと快晴の池面に釣竿を延べ複雑な魚信を瞬時に判断し次々と大物の鯉を釣り上げ歓声があがっていました。事故なく釣りの講座を終わり主催者教育委員会課長の閉講挨拶で締め括りました。

(報告:全釣り協　釣りインストラクター南京都　吉川幾久雄)

報告11 平成18年 10/28「和束南山城釣り教室」 主催　和束南山城地域子ども教室

代表　木村　宣

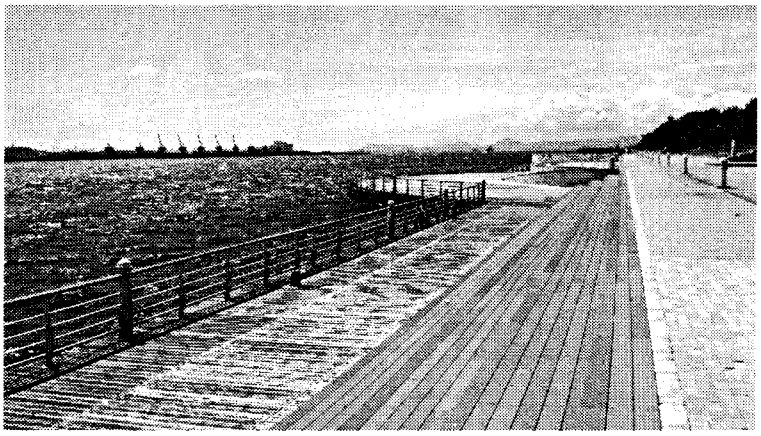
10月28日(土)午前9時～13時

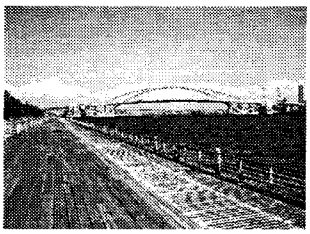
於　やまなみホール駐車場木津川大河原大橋下手

講義　釣りを楽しもう(吉川)、川釣り(繞木)、釣りの仕掛け(中田)、淀川水系の魚たち(小河)

実技　広々した木津川上流の大河原は水量豊かでベテランのつり人が釣竿をならべる好釣り場です。参加者18名、主催者2名、講師4名は河原で講座を開きました。はえ、かまつか、もろこ、等の小魚、悠々と泳ぐ鯉、緋鯉など眼にしますが釣れるのはもろこ(こうらいもろこ)さんですが釣れる度に歓声が上がります。秋空たかく心地良い気温で楽しく釣り教室を終えました。

(報告:全釣り協　釣りインストラクター南京都　吉川幾久雄)





ここが9月23日、10月14日に「社会実験」として予定されている舞洲緑地シーサイドプロムナードです。日曜日にはちらほら散歩する方があるそうですが、普段はまったく人影がない所。木製のデッキが張られた立派な水辺なのですが…

この場所の〝釣り禁止〟という条例をいかにして取り払い、釣り人も一般の市民もともに親しむことのできる水辺の公園にできるかが課題だと思っています。釣り専用の公園とする考え方も必要かもしれませんが、それよりも、私たち釣り人がマナーよく釣り場を管理することで、できることなら舞洲緑地の水辺全域の釣り禁止が解除されるように、市民と行政が協力し合っていかなければなりません。いずれにせよ、今までの港湾行政とは変わってきたことを喜びたいと思います。最初の一歩は、たった2日、全長280メートルだけの社会実験ですが、この一歩を踏み出す力はたいへん大きい意味があります。どうかみなさんのご協力をお願いいたします。（9月23日はJOFI大阪が担当し、水質と釣獲の調査を行ないます。どんな対象魚が生息しているかの調査です。いつもは指導ばかりしていますが、たまには〝釣り〟の腕を役立てましょう。ご家族友人などお誘いの上、お弁当持参でお集まり下さい。）

魚つり園・釣り入門教室
インストラクター募集！

JOFI大阪では、昨年4月より行なっている南港魚つり園での「釣り入門指導員」を募集しています。会員の皆さんの中には、公認釣りインストラクター資格を持っていても釣り指導をする機会がなかった方もいらっしゃると思いますが、ここでは仲間とチームを組んで見回りや指導をしますから、初めての方も心配ありません。ぜひ一緒にご参加下さい。

場　　所　大阪南港・魚つり園
開催日時　毎週日曜日／午前8時～12時
（希望があれば祝日や土曜日もできます）
募集人員　各日5～10人
指導内容　入門教室、安全指導、マナー巡回指導など
用意するもの　現場で教えるための小物があれば便利
そ の 他　天候により閉鎖する場合があり、
連絡先（携帯）の届出を行なってください

初めての申込者には、担当リーダーから連絡を入れさせていただきます。
参加インストラクターには交通費として3,000円が支払われます（後日振込）。

インストラクター活動参加申込書（南港魚つり園分）

参加希望日に○印をつけて下さい。

9月—	9日	16日	23日	30日
10月—	7日	14日	21日	28日
11月—	4日	11日	18日	25日
12月—	2日	9日	16日	23日
1月—	6日	13日	20日	27日
2月—	3日	10日	17日	24日

＜申込者＞
氏名　　（年齢　　）
住所
連絡先電話番号
インストラクター登録No.

ご参加の方は必要事項を記入の上
NPO法人釣り文化協会事務局まで **Fax 06-6358-4445**

釣り界の新しい動きは、こちらをご覧ください。
http://www.zenturi-jofi.or.jp
（社）全日本釣団体協議会のホームページです。外来魚問題や沿岸の釣りなど、釣り行政の動きを日々捕らえて全釣協としての姿勢、釣り人としての対応等についてまとめています。

大阪湾の水質調査や釣り人ボランティアの動きについては、こちらご覧下さい。
http://www.turibunka.or.jp